

ウミガメと人を迎える温もりのある町

大阪大学外国語学部外国語学科 四年



恒石花実

一、はじめに

私は大阪大学外国語学部外国語学科の恒石花実と申します。今年度の地域づくりインターン生として美波町で一週間お世話になりました。美しい海岸に囲まれウミガメ保護の歴史や近年はサテライトオフィスの誘致など移住・交流を促進する取り組みを盛んに行なっている美波町でぜひ地域づくりの現場を学ばせていただきたいと考え応募しました。

二、インターン中の体験

一週間という短い期間でありましたが、滞在中は美波町

に関する様々な経験をさせていただきました。一日目は薬王寺でのお勤めと赤松で農業体験をしました。お遍路さんや訪日外国人が多く訪れる薬王寺は美波町の歴史と観光のシンボルであると感じました。農業体験では高齢化と過疎化が進む地域での耕作休耕田や耕作放棄地問題を学びました。未だ解決策がないと聞き、問題の深刻さを痛感し今後自分自身でも課題として考えていきたいと思えます。二日目はうみがめ博物館カレッタでうみがめの赤ちゃんの餌やりやイベントのお手伝いをしました。うみがめに触る体験やうみがめに餌をあげる体験は、一般的な博物館や水族館で行われていない貴重な体験です。うみがめ博物館だからこそできることをされていると感じました。三日目は海達さんでダイビング体験をさせていた

ただきました。水中ではマアジやイワシを見ることができ海の幸に恵まれた町であることを感じました。また自然を生かしたアクティビティが多くあることを知り、海や山での遊び方の豊富さに驚きました。午後からは観光ボランティアガイドさんに薬王寺と日和佐の町を案内していただきました。日和佐の町並みの案内では、道ごとに昔あった建物を一つ一つ教えていただき昔の日和佐の情景を想像しながら町を歩くことができました。昔の臨場感を感じさせる案内は古くからこの町に親しんできた方だからこそできるもの



です。この案内を後世にも受け継いでいただきたいと思います。四日目は観光協会にお世話になり道の駅の観光案内所や田井ノ浜での活動に参加しました。活動中は協会の方とお話しする機会を多くいただき、美波町が抱える観光面の課題や今までの取り組みについて実際に働く方の生の声を聞くことができ大変勉強になりました。

三、美波町について

最終日のインターン体験発表会では、一週間のインターン体験を通じて私が感じたことや考えたことを踏まえて美波町にくつかの提案をさせていただきました。この一週間の滞在を通して私が提案したい点は三点です。

(1)海外からの観光客がもっと滞在しやすい町づくり (2)山・農地の活用 (3)夜の観光スポットづくりです。そのための施策として三つの施策を考えました。

一つ目が、つながる「ゲストハウス」事業です。薬王寺や観光案内所で活動していた際、海外からの観光客を多く見かけました。訪日観光客数は年々増加しており美波町に訪れる訪日外国人も今後増加すると思います。美波町での滞在を満足してもらうためにも海外の方が気軽に遊

び滞在できる環境整備が必要だと考え、旅人がほっと一息つけるようなゲストハウス型の宿泊施設を考えました。ゲストハウス型にした理由は美波町に訪れる海外の方がお遍路さんやバックパッカーが多く、手軽に滞在できる宿泊施設が最適ではないかと考えたためです。またゲストハウスは共有空間が多くあるため宿泊者同士あるいは宿泊者とゲストハウススタッフで気軽にコミュニケーションを取ることができそうです。交流を生み出し関係を築くことができるとも良いと思います。受付の場所には交流スペースをつくり、そこで定期的にミニイベントを実施することで地域住民と観光客の交流の場を作りたいと考えています。そして海外の人にゲストハウスを知ってもらうために、海外の方がよく使う海外の宿泊サイトに登録したいと思えます。また海外の方はSNSから情報収集を行うためYouTubeやFacebookなどSNSを通じて情報発信・拡散を行いたいと考えています。SNSではゲストハウスに関する投稿だけではなく、美波町の魅力も同時に投稿し海外の方の心を惹きつけたいです。

二つ目は耕作放棄地や休耕田となっている農地や山を活用し、フードバレーを美波町につくる